

ました。そして、アルミ缶回収に来てくださる安藤紙業さんならきっと何かを知っているに違いないと考え、PTAさんに、関係機関にお勤めする保護者の方がいらっしゃるかと働きかけたところ、ある保護者の方が、安藤紙業さんに連絡をとって下さいました。そして、なんと、安藤紙業さんが後日来園され、回収されたアルミ缶のその後を、教えてくださることになりました。今からとても楽しみにしています。



鮎のつかみ取り 鮎ってどんな魚？富士川ってどんな川？

7月13日(火)に行った“鮎のつかみ取り”は、とても楽しかったですね。富士川の支流、福士川で育った鮎が、プールに勢いよく放流されると、子どもたちだけでなく、保護者の皆さんからも歓声が挙がりました。園の恒例行事となっている、鮎のつかみ取りは、地元の素晴らしい恵みを、子どもたちに知ってもらうことをねらいにしています。そこで、鮎のような川魚の生態や、海や川近辺にいる生き物などにも注目していきたいなと思います。



鮎のおトリ店店主さんが、鮎の育ちについてお話ししてくれました。

富士川の支流福士川で生まれた鮎は、海で育ち、富士川を通して福士川に戻ります。綺麗な川には、プランクトンという小さな餌が育つので、鮎は喜んで帰ってきます。汚れた川には、鮎も帰りたくありません。鮎が住み続けられるような富士川にしていきたいと思います。



炭火で塩焼きです。



鮎の放流に大歓声！

がんばれ～

年少組とみみちゃん教室(未就園児の会)のお友達は、小さなプールでつかみ取りに挑戦！鮎の体の色をよく見えています。



年中・年長組は、プールでつかみ取りです。鮎の泳ぎが速すぎて追いつきません！

いける！



清流で育った鮎は、残すところなく全て食べられます。

焼き立ては、おいしい～

